

# 留 学 報 告 書

記入日:2015年2月26日



所属学部／研究科・学科／専攻	文学部文学科ドイツ文学専攻		
留学先国	オーストリア		
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ウィーン大学 現地言語: Universitaet Wien		
留学期間	2014年8月～2015年2月		
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)		
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)		
留学先での所属学部等	Deutsche Philologie		
帰国年月日	2015年2月20日		
明治大学卒業予定年	2017年3月		
<b>留学先大学について</b>			
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他		
学年暦	1学期:3月～6月 2学期:10月～1月		
学生数	92,000名		
創立年	1365年		
<b>留学費用項目</b>	<b>現地通貨 (ユーロ)</b>	<b>円</b>	<b>備考</b>
授業料	18.50	2775円	1セメスターにつき(現地の学部生は8セメスター以降は1セメスターにつき360ユーロ)
宿舍費	700	60万円	
食費	600	6万5000円	カフェのコーヒーは3～5ユーロ
図書費		3万円	教科書代等
学用品費	50	7500円	
教養娯楽費		円	
被服費	700	10万円	
医療費	70	1万円	
保険費		6万7160円	形態:留学生賠償責任危険担保特約 留学生生活用動産損害担保特約
渡航旅費		16万9810円	
雑費		5万円	
合計		約110万円	

## 渡航関連

## 渡航経路:

行きは成田→フランクフルト JAL

帰りはウィーン→イギリスヒースロー→羽田、ブリティッシュエアウェイズと JAL

## 渡航費用

チケットの種類 ヨーロッパ行 JAL 学生ロングステイ

往路

復路

合計 16万9810円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

旅行会社:JAL

ガイドブック:地球の歩き方

## 滞在形態関連

## 1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

アパート

## 2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 )

## 3)住居を探した方法:

インターネット

## 4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

OEAD は評判がよくないので、それ以外のサイトで探すことを勧める。ウィーンの学生寮の料金の平均は 300~400 ユーロほど。Stuwo などのサイトで探すのがおすすめ。

## 現地情報

## 1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった利用した:日本で海外旅行保険に入っており、治療費が戻ってくることから自宅の近くの Allgemeinarzt のところに掛かった。日本の保険の提携病院に行けば無料で診断してもらうことは、保険会社のパンフレットによると可能。(現地でインフルエンザにかかったが、提携病院まで行ける体力がなく、近くの提携でない病院に行ったため、パンフレットによると、と記載しておく)

## 2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

International Office の方・バディー・現地の留学生やオーストリア人の友人に相談した。

## 3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

インターネットサイトや、友達づてに危険情報を収集した。防犯対策としては、いつも鞆のチャックを閉め、自分の体の前に持って緊張感を持ちながら足早に歩く心がけていた。一度、夜遅く地下鉄に乗っていた時に危険な目に遭った。地下鉄から降車する際、表情が暗く気味の悪い印象の男性にいきなり後ろから背中を殴られた。すぐに逃げたが追いかけられたので、周りにいた人に助けを求め、守ってもらった。ドアが完全に閉まる直前、電車を飛び出すことを小声で、私を守ってくれた周りの人に伝え、それを実行し、その場を回避した。翌日警察に犯人を捜索してほしいと頼んだところ、負傷していないので、それはできないと言われた。オーストリア人の知人に相談したところ、地下鉄はいつでも、特に夜は物騒な人がいることもあるので、少しでも危ないと感じたら車両を変更する、なるべく座らずに立ったほうが良いとアドバイスされ、事件後はそれを実践するようにしていた。

## 4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学内は生徒であれば、Wifi の使用が可能。明治大学にあるメディア自習室のような大型のパソコンルームは NIG (Hauptgebäude から徒歩 5 分程度)にあり、そこで印刷やパソコンの使用が可能。印刷する際は Facultas のコピーカードを購入する必要がある。街にある多くのカフェでは Wifi が使用可能だが、もし Wifi 使用目的でカフェに入りたい場合、最初に店員に Wifi の使用可否を尋ねることを勧める。

## 5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

2 枚のクレジットカード(VISA)を併用していた。Visa カードはほとんどのスーパーや店で使用可能。レストランだとたまに 10 ユーロ以上でないとクレジットでは支払えないというところもある。送金に関しては Citibank の口座を通した。Bank Austria や Erste Bank などの銀行のように、Citibank の銀行の建物はないが、道にある ATM で引き出しが可能。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

納豆・だし・箸・日本のお菓子・ふりかけ。米や醤油は手に入る。袋が小分けになっているようなキャラクターもののふりかけは現地では見かけなかったのが、留学生やオーストリア人の友達に喜ばれた。

## 進路について

### 1) 進路

就職 進学 未定 その他:

### 2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。  
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

就労ビザがあれば Praktikum ができる。現地で働くことを視野に入れている場合、したほうがよいと思う。友人の例としては、3年生の後期で留学し、アメリカで行われたキャリアフォーラムに参加するため、留学中ウィーンからアメリカの行って就活をしていた。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
26 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 14 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Neuere deutsche Literatur: Jugendliteratur im Kontext von Jugendkultur	現代におけるドイツ文学: 若者文化における若者文学
科目設置学部・研究科	Deutsche Philologie
履修期間	Winter Semester 2014
単位数	4
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Sonja Loidl
授業内容	トワイライト・ハリリー・ポッターなど、若者にむけて書かれた文学作品、映画などの作品について、毎回異なる教授が講義をしにくる。「ファンカルチャー」(ファンの性質について)、「漫画の役割」(漫画のメディアとしての社会における役割、文字や漫画の描き方について)など、英語で行われる講義もあった。
試験・課題など	課題はなし。試験は期末にある。
感想を自由記入	教授は女の先生で、とても優しく、シラバスを見て少しでも興味がわけばぜひひとつは講義型の授業だ。授業の最後にはいつも質問タイムを設けてくれる。テストを受けなくても、講義を聞きに行くだけでも、映画、音楽、文学が好きな人には面白いと思うのでおすすめです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Gesellschaft Japans		日本の社会	
科目設置学部・研究科	Japanologie		
履修期間	4 か月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回		
担当教授	Herr Manzenreiter		
授業内容	パワーポイントの写真・図やグラフを見ながら講義を聞く。毎回テーマが違い、たとえば日本のサブカルチャー、ジェンダー観、性意識、人口の変遷について学ぶ。		
試験・課題など	選択回答式のテストが 1 月末に 1 度。課題はない。		
感想を自由記入	大きな教室で、前のほうに座ると質問がしやすい。積極的に質問する生徒は前の方に座っている傾向が強い。Moodle にその日の授業で行った内容確認のテストがあるので毎回やると力がつくと思う。期末テストも、Moodle での復習を行えば受かると思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Die japanische Bevölkerungsentwicklung		日本の人口の発展	
科目設置学部・研究科	Japanologie		
履修期間	4 か月		
単位数	4		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回		
担当教授	Herr Lützelzer		
授業内容	日本の人口減少の変遷について、様々な視点から分析していく。例えば、女性の社会進出、晩婚化・非婚化など。		
試験・課題など	初回授業で Fachbegriffe を翻訳して Email で提出した。12、1 月にかけてプレゼンテーションを 2 人一組で行った。ある特定の本を読みそれを要約、そして批判し自分の意見を交えることがプレゼンテーションの条件だった。学期末には記述式のテストがある。		
感想を自由記入	この講義の受講者は 10 名程度だったため、アットホームな環境で、教授もわかりやすいはっきりとしたドイツ語を話されるのでとても居心地が良かった。Moodle で毎回の授業のスクリプトが上がるので、それを毎回復習することをお勧めする。教授は留学生に理解があり、テスト中に辞書の使用を許してくれ、やさしい。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
September Intensivkurs (B2.2)	ウィーン大学による語学コース、B2.2
科目設置学部・研究科	Sprachenzentrum
履修期間	9月1日～3週間
単位数	4
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	
授業時間数	1週間に360分が5回
担当教授	Frau Fruhmann
授業内容	読み書き聞く書くを、B2の試験に向けて約15名で学ぶ。
試験・課題など	毎日宿題が出る。
感想を自由記入	イタリア・オランダ・台湾・ロシア・ポーランド・トルコの参加者がいて、これからウィーン大学や、ウィーン工科大学で学ぶ人たちがほとんどで、同世代ということもあり話もあい、楽しかった。参加者はみな、隙あらば質問を投げかけたり、アクティブに参加するのがいわば当たり前なので、とにかく少しでもわからないことがあれば質問し、他国勢に負けず最後のテストに合格してほしい。私が行った時期には割引があり、Sprachenzentrumにおける語学コースを受けるのが初めての人かつ最後のテストに合格すれば受講料がもどってきたので、最初のオリエンテーション、語学学校初日の授業でそういった情報を聞き逃さないようにしたい。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Feburur Intensivkurs (C1.1)	2月集中コース C1.1
科目設置学部・研究科	Sprachenzentrum
履修期間	2月20日までの3週間
単位数	4
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	
授業時間数	1週間に360分が5回
担当教授	Herr Ulrich
授業内容	Hueber 出版の C1 用のテキストをつかってトレーニングした。毎日生徒が代わる代わる、前日に新聞・ネットで読んだウィーンに関するニュースを発表したりと、B2 よりもレベルの高いことをした。
試験・課題など	毎日日記をドイツ語で書くのが固定の課題で、日により、リスニングや文法などに関する宿題が出る。
感想を自由記入	先生は総勢15名ほどの、アクティブで、1人1人が話したがるような面子を、先生から問いかける形をとってうまくまとめてくれた。授業中は質問が飛び交ったが、みんなで質問を常に共有できるようにしてくれたり、すごくいい先生だった。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2013年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	11月 協定校留学 書類提出 12月 面接選考
2014年 1月～3月	1月 学内選考合格者向け説明会 2月 ウィーン大学へ出願 (Pre-registration)
4月～7月	5月19日 ウィーン大学からの入学許可書がメールで届く
8月～9月	2014年度 明治大学外国留学奨励助成金に応募 8月22日にドイツ・フランクフルトへ到着 高校時代10か月面倒をみていただいたホストファミリーの家に1週間ほど滞在 8月30日にWien Westbahnhofに電車で到着 9月からはSprachenzentrumでレベルチェックテストを受け、B2.2コースを受け、最後のテストに合格した 9月13日に大学のオリエンテーションへ行く 8月後半～9月にかけて、Erasmusのイベントに参加し友達を作る
10月～12月	10月より授業開始。Erasmus welcome partyで友達が増える 12月はいたるところにクリスマスマーケットがあり、マグカップを片手に集う人々で街がにぎわう
2015年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	高校時代から、大学に入った後留学したいという希望がありました。2010年から2011年の10か月間、ドイツにホームステイした経験があり、そこでの生活様式が大好きでした。英語・ドイツ語をしゃべること・勉強することが好きで、大学1年間を通し熱心に取り組んできましたが、ドイツ語能力が衰えていくのを顕著に感じ、また留学しなければならないと思いました。教職課程・体同連のサークルとの両立も考え、期間は半年にしました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	明治大学にウィーン大学からの交換留学生として来ていた方がいることを文学部事務室の方から教えていただき、その留学生の方と食堂で会い、現地の詳しい情報を教えていただけたことは役に立ちました。Erasmus ネットワークやパブで出会う留学生やオーストリアの友人と話をし、幅広い分野に関して知識を持つことが大切だと感じました。特にヨーロッパの政治情勢については日本からでもチェックできるので、出発前から興味を持っておくと思います。また、留学先では数字をよく聞かれるので、それを知っていることも大切です。例えば、日本の人口、自分の住んでいる都道府県の人口などです。
この留学先を選んだ理由	ドイツ語が大好きなので、語学力を上げるためにドイツ語圏に留学希望をしていました。また同時に、英語にも興味があったので、英語の力も伸ばしたいと考えていました。ドイツ・スイス・オーストリアの大学が選択肢にありましたが、私の好きな精神学者の Viktor Emil Frankl の母校、そしてドイツ語圏内最古の歴史ある大学であるウィーン大学で学びたいと考えようになりました。そして私の指導教授が、英語もドイツ語も伸ばすことができる留学先であるとおっしゃっていたこともあり、ウィーン大学を留学先に選びました。
大学・学生の雰囲気	大学のキャンパスはウィーン市内にいくつかあります。一番大きなメインのキャンパスはとても豪華で荘厳といった印象を受け、とても美しいです。中庭もあり、夏は外で勉強する人、読書をする人が多いそうです。大学の雰囲気は落ち着いていて、廊下のベンチでパソコンを使い勉強している人が多いです。学生の年齢層は広く、高校卒業したての若い年齢層もいれば、ご年配の方もいらっしゃいます。講義形式の授業では、パソコンをノート代わりに使う学生、紙のノートをとる学生が半々の割合です。
寮の雰囲気	私が住んだのは一般のアパートだったため、友達の例を書きます。ある寮にはサウナ・ジムが設置されていて、両方早朝が空いていて、友達同士で一緒にいくことが多いです。階ごとにラウンジのような場所があり、そこで学生たちが一緒に料理をつくったり、ゲームをしたりする交流の場になっています。寮のポストには、パブで使えるお酒の割引券もよく入ります。寮ではキッチンが共同であることが多く、1人が使ったらその人がすぐに片づけ、次の人が使えるようにするのがルールです。
交友関係	8月末から9月1週目にかけて留学生にむけたイベント週間、Erasmus welcome week があり、レストラン、ハイキングや博物館に行くイベントを通し、スロバキア、ポーランド、ドイツ、ロシア人などの友人ができました。ホームパーティーやパブで友人を互いに紹介し合い、友達の輪は常に広がっていた毎日でした。ウィーン大学に留学しているが、英語でしかクラスを取っていない友人も全体の中で3分の1ほどおり、ドイツ語を話さない友人と話す時は英語で話しました。また、Japanologie の生徒たちの集まりであるタンデムの会が毎週水曜日の夜にあり、そこでは私の様に半年～1年留学に日本から来ている学生や、日本学を勉強しているオーストリア人の学生と交流ができました。
困ったこと、大変だったこと	滞在許可を取る準備に手間と時間がかかり、大変でした。私は滞在許可が下りませんが、6か月以上オーストリアに滞在を希望の場合は、予め留学前から必要手続きを済ませることをお勧めします。また、オーストリアにはビザなしで最大6か月の滞在が可能ですが、他のシェンゲン加盟国へは最大3か月の滞在が可能です。(2015年2月現在) ビザがあればオーストリア滞在3か月を過ぎた以降もどのシェンゲン加盟国に入学することが可能ですが、もし滞在許可がない場合、違法滞在になるので注意すべきです。
学習内容・勉強について	日本での専攻分野に関係なく、ウィーン大学では学部関係なしに好きな授業を取ることができたので、初めて習う内容のこともあり刺激になりました。Japanologie の授業は日本の歴史、サブカルチャーなどについてドイツ語で講義などが行われるので、ドイツ語の勉強にとっても効果的だと思います。少人数の授業を取ると、授業中に質問しやすい、友達ができやすいという点で得たと思います。

課題・試験について	私の取ったすべての授業のテストは学期末である1月後半に集中していました。中間テストはありませんでしたが、例えばチェコ語を取っていた留学生の友達は、毎週チェックテストがあったそうです。日本の人口の発展という授業では、ドイツ語で「shrinking population in Japan」という本について、2人一組でプレゼンテーションを行いました。期末テストでは4つ受けたうちの1つの授業のものを除き、電子辞書の使用が許可されました。試験形態は記述式が主で、選択式のテストは1つだけでした。
大学外の活動について	インターネットで発見したテニストレーナーに、週1、2回のペースでテニスを教わりました。また USI というサイトに載っていたコースの1つであるクラシックバレエのコースに毎週通いました。USI と検索すればそのサイトが出て、本当にたくさんのスポーツのコースがあり、しかも安いのでおすすめです。さらに、albertschultzzeishalle というところで、週1回スケートも習いました。また9月にウィーン大学の提供する語学コースの Sprachenzentrum でB2.2 コースをクリアした後、IKI という語学学校へ行き、基礎を補うため B2.1 のコースに2か月通い、大学の授業期間が終了した2月には、再び Sprachenzentrum で1ヶ月間の C1.1 のコースに参加しました。
留学を志す人へ	「習うより慣れよ」の一言を念頭に置いて生活するといと思います。例えば「やる、やらない」の二択なら「やる」、「行く、行かない」の二択なら「行く」を選択して生活していたら、そうしなかった場合より、語学的にも人間関係的にも学ぶことができ、よりよい結果が得られたと考えています。留学中、語学力があまりついていない、この友人とうまくいかなかった、大学の勉強についていけない、と落ち込むこともあるかと思いますが。その時は、自分を責めず、これが自分であると受け入れ、気分転換をして、たとえば一人の時間をつくるなど、自分にとって居心地のいい状態をつくるかといと思います。留学を全体的にプラスな経験としてあとで振り返ることができるのが一番大切だといと思います。積極的に行動し可能性を広げていくことも、体力・気力が必要なので、自分のできる範囲でバランスをとりながら、価値ある留学にしてほしいと思います。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	テニス (日本人の奥さんを持つオーストリア人男性のトレーナーと)	Volksgarten という家の近くの公園で ジョギング	ロシア人の友達とカフェへ	テニス	授業	Hauptbahnhof で、ポーランド人、チェコ人の友達と待ち合わせ Salzburg へ	タンデムパートナーと Karlsplatz で待ち合わせ Starbucks で一緒に勉強
	サウナ・シャワー	シャワー・身支度	授業	サウナ・シャワー	自習した後、地下鉄で Schottentor → Krieau へ移動	Salzburg 到着 26 ユーロで Salzburg カードを購入	Karlsplatz → Kagran に移動
午後	帰宅・スーパーで買い物	授業	Coffee shop company というカフェで自習	授業	USI のコースのバレエ (日本人の女性の先生のもと)	武器博物館見学	Albert-Schlutz-Eishalle でスケートの授業
	授業	授業	Mariahilferstrasse の Bershka など洋服等買い物	授業	授業	モーツァルトの生家、住居など見学	ウズベキスタン人の友達とレストランへ行く
時刻	オーストリア人の友達と待ち合わせ	自習・地下鉄で Schottentor → Nestroyplatz へ移動	授業	自習・地下鉄で Schottentor → Nestroyplatz へ移動	Schottentor → Erdberg に移動	Kaffee Sacher でザッハートルテを食べる	一時帰宅
夜	友達の家へ行って、映画を観る、お菓子を作るなど	語学学校 (IKI)	ロシア人の友達とクリスマスマーケットへ行って Punsch を飲む	語学学校 (IKI)	Erdberg 駅近くの Arena で Epica, Dragonforce のライブをオーストリア人の友達と見に行く	Wien に帰る	マケドニア人の友達と映画とクリスマスマーケットへ行く